

科目番号	FA105						
科目名	基礎セミナー						
担当教員	新見 満			所属等	県立森林大学校森林教育専門員		
科目区分	実習・訓練			人材養成の方針	即戦力	リーダー	地域貢献
対象学年	1年			授業形態	講義・演習		
開講時期	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	単位数	2	
授業時間数	30			コマ	( 60 単位時間 )		
実務経験のある教員による授業科目	-			左の実務経験の内容	-		
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無	-			左の実務経験の内容	-		
実務経験を活かした授業内容							

目的	森林大学校での学びを深めるための基礎的な知識を身につけるとともに、森林、林業分野への就業に向けた意識の醸成を図る。						
概要	将来のキャリアデザインの形成のため、大学校で学ぶ意義を理解するとともに、接遇研修や就業セミナーへの参加などを通して、森林、林業分野への就業に向けた意識の醸成を図る。						
キーワード	①接遇研修、②就業ガイダンス						
関連する科目	体験研修1、特別活動1						
到達目標	<input type="radio"/>	森林林業の即戦力として活躍するための実践的な技能の習得					
	<input type="radio"/>	森林林業の次代のリーダーとなるための専門知識及び技術の習得					
	<input type="radio"/>	多自然地域の振興や課題解決に貢献するための幅広い知識及び技術の習得					
評価方法	※評価対象外						

授業計画	テーマ	講義内容
1	導入	大学校で学ぶ意義、学習上留意すること、他者と学ぶ意義など
2～3	個人面談	就業の希望についての話し合い
4	会社の情報収集方法	会社の情報収集の仕方(冊子やインターネットの利用方法など)
5～6	個人面談	就業の希望についての話し合い
5～6	接遇研修1	社会人としての基本的なマナー
7～8	接遇研修2	組織での活動における所作
9～10	企業説明会	就職ガイダンス参加
11～14	個人面談	就業の希望についての話し合い
15～18	自己分析に挑戦	就業・進学に向けた自己分析(自分の強み、弱みの洗い出し、自己PR、履歴書の書き方)
19～22	ハローワークの活用	ハローワークの求人情報、就業支援の活用
23～24	個人面談	就業の希望についての話し合い
25～28	会社の情報収集方法	会社の情報収集の仕方(冊子やインターネットの利用方法など)
29	会社の情報収集方法	会社の情報収集の仕方(冊子やインターネットの利用方法など)
30	会社の情報収集方法	会社の情報収集の仕方(冊子やインターネットの利用方法など)

テキスト	
参考書	
関連する資格	
備考	

科目番号	FB101					
科目名	技術定着 1					
担当教員	岩成 麻子		所属等	県立森林大学校主任森林教育専門員		
科目区分	実習・訓練			人材養成の方針	即戦力	リーダー 地域貢献
対象学年	1年			授業形態	実習	
開講時期	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	単位数	1
授業時間数	15			コマ	( 30 単位時間 )	
実務経験のある教員による授業科目	-		左の実務経験の内容	-		
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無	○		左の実務経験の内容	広葉樹苗木生産		
実務経験を活かした授業内容						

目的	1年次の実習科目で履修した施業技術等の定着を図る。	
概要	造林学や機械学実習で学習した刈払技術やシカ防護柵の点検・補修、伐木技術などの技術の定着を図るための実習を行う。	
キーワード	①刈払技術 ②シカ防護柵の点検・補修 ③伐木技術	
関連する科目	林業機械学実習、造林学実習、森林計測学実習、測量学実習	
到達目標	○	森林林業の即戦力として活躍するための実践的な技能の習得
	-	森林林業の次代のリーダーとなるための専門知識及び技術の習得
	-	多自然地域の振興や課題解決に貢献するための幅広い知識及び技術の習得
評価方法	実習で指示する各課題の到達度20%、出席時間数60%、履修態度20%	

授業計画	テーマ	講義内容
1	コンテナ苗植栽地の管理	下刈・つる切り
2	コンテナ苗植栽地の管理	下刈・つる切り
3	コンテナ苗植栽地の管理	下刈・つる切り
4	コンテナ苗植栽地の管理	下刈・つる切り
5	コンテナ苗植栽地の管理	下刈・つる切り
6	コンテナ苗植栽地の管理	下刈・つる切り
7	コンテナ苗植栽地の管理	下刈・つる切り
8	コンテナ苗植栽地の管理	下刈・つる切り
9	コンテナ苗植栽地の管理	下刈・つる切り
10	コンテナ苗植栽地の管理	一貫作業システム・低密度植栽
11	コンテナ苗植栽地の管理	下刈・つる切り
12	広葉樹苗木生産技術	広葉樹苗木の生産技術を学ぶ
13	広葉樹苗木生産技術	広葉樹苗木の生産技術を学ぶ
14	広葉樹苗木生産技術	広葉樹苗木の生産技術を学ぶ
15	広葉樹苗木生産技術	広葉樹苗木の生産技術を学ぶ

テキスト	
参考書	
関連する資格	
備考	

科目番号	F B 1 0 2						
科目名	体験研修 1						
担当教員	野谷 るり子			所属等	県立森林大学校		
科目区分	実習・訓練			人材養成の方針	即戦力	リーダー	地域貢献
対象学年	1年			授業形態	実習		
開講時期	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	単位数	1	
授業時間数	15 コマ			( 30 単位時間 )			
実務経験のある教員による授業科目	-			左の実務経験の内容	-		
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無	-			左の実務経験の内容	-		
実務経験を活かした授業内容							

目的	「オープンキャンパス」をはじめ、「いちのみやふるさとまつり」等のイベントへの参画を通じて、コミュニケーション能力の向上を図るとともに、多自然地域の伝統や風習への理解を深め、地域住民との交流を促進する。						
概要	イベント運営への参画、イベントブースの出展等						
キーワード	①オープンキャンパス、②県イベントへの参加、③地元イベントへの参加						
関連する科目	基礎セミナー、特別活動1、体験研修2						
到達目標	○	森林林業の即戦力として活躍するための実践的な技能の習得					
	-	森林林業の次代のリーダーとなるための専門知識及び技術の習得					
	○	多自然地域の振興や課題解決に貢献するための幅広い知識及び技術の習得					
評価方法	出席状況・取組態度 70～80%、報告書等提出状況 20～30% 15コマ1単位の履修を必須とするが、30コマ以上(44コマ以下)履修した者には2単位、45コマ以上履修した者には3単位を授与する						

授業計画	テーマ	講義内容
1	オープンキャンパス	(1) 出展の意義、(2) スタッフの役割
2	オープンキャンパス	(1) オープンキャンパスでの展示物等の作成、準備
3	オープンキャンパス	(1) 会場設営、展示準備
4	オープンキャンパス	(2) 展示、プレゼンテーション、来場者との交流、(3) 撤収
5	木材フェア	(1) 会場設営、展示準備
6	木材フェア	(2) 展示、プレゼンテーション、来場者との交流、(3) 撤収
7	国見まつり	(1) 会場設営、展示準備
8	国見まつり	(2) 展示、プレゼンテーション、来場者との交流、(3) 撤収
9	棚田のあかり	(1) 会場設営、展示準備
10	棚田のあかり	(2) 展示、プレゼンテーション、来場者との交流、(3) 撤収
11	農林漁業祭	(1) 会場設営、展示準備
12	農林漁業祭	(2) 展示、プレゼンテーション、来場者との交流、(3) 撤収
13	農林漁業祭	(1) 会場設営、展示準備
14	農林漁業祭	(2) 展示、プレゼンテーション、来場者との交流、(3) 撤収
15	里山フェスタ	(1) 展示、プレゼンテーション、来場者との交流、(3) 撤収

テキスト	
参考書	
関連する資格	
備考	

科目番号	F B 1 0 3					
科目名	特別活動 1					
担当教員	皆川 芳嗣		所属等	県立森林大学校長 名誉校長		
	野谷 るり子			県立森林大学校		
科目区分	実習・訓練			人材養成の方針	即戦力	リーダー 地域貢献
対象学年	1年			授業形態	実習	
開講時期	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	単位数	1
授業時間数	15 コマ			( 30 単位時間 )		
実務経験のある教員による授業科目			—	左の実務経験の内容 —		
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無			—	左の実務経験の内容 —		
実務経験を活かした授業内容						

目的	さまざまな活動への参加を通じて、自己を活かす能力の向上をはかる。					
概要	講演の聴講、先進事例の視察、芸術・文化鑑賞、ボランティア活動への参加、学内外で開催される事例報告会などへの参加などを通じて、自己を活かす能力の向上をはかる。					
キーワード	①講演会、②先進事例視察、③芸術・文化鑑賞、④ボランティア活動、⑤事例報告会					
関連する科目	基礎セミナー、体験研修1・2、特別活動2					
到達目標	<input type="radio"/>	森林林業の即戦力として活躍するための実践的な技能の習得				
	<input type="radio"/>	森林林業の次代のリーダーとなるための専門知識及び技術の習得				
	<input type="radio"/>	多自然地域の振興や課題解決に貢献するための幅広い知識及び技術の習得				
評価方法	出席・取組状況 80～90%、報告書の提出状況等 10～20%					

授業計画	テーマ	講義内容
1	名誉校長講話	・講演の聴講
2	諸連絡等	事務連絡（各教員）
3	歓迎ハイク	地元探求
4	歓迎ハイク	地元探求
5	その他	交流体験
6	その他	交流体験
7	その他	交流体験
8	その他	交流体験
9	交流発表会	・交流発表会の聴講
10	交流発表会	・交流発表会の聴講
11	国内研修発表会	・交流発表会の聴講
12	国内研修発表会	・交流発表会の聴講
13	卒論報告会	・事例報告会
14	卒論報告会	・事例報告会
15	卒論報告会	・事例報告会

テキスト	
参考書	
関連する資格	
備考	講演会、視察研修等の詳細は学内掲示等により周知します

科目番号	FB106					
科目名	インターンシップ					
担当教員	新見 満		所属等	県立森林大学校森林教育専門員		
科目区分	実習・訓練			人材養成の方針	即戦力	リーダー 地域貢献
対象学年	1年			授業形態	実習	
開講時期	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	単位数	2
授業時間数	35			コマ	( 70 単位時間 )	
実務経験のある教員による授業科目	-		左の実務経験の内容	-		
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無	○		左の実務経験の内容	事業体等の指導者		
実務経験を活かした授業内容	事業体等におけるインターンシップ					

目的	森林・林業の担い手として相応しい人材を育成するため、大学校での授業の成果を踏まえ、より実践的な能力の育成と実社会への適応力向上を図る。	
概要	森林林業又は木材作業に関する企業等において1回あたり3日間の研修を2回受講する。受講成果は報告書にまとめるとともにインターンシップ発表会において発表し、成果の定着を図る。	
キーワード	①インターンシップ、②成果発表	
関連する科目	学外就業体験	
到達目標	○	森林林業の即戦力として活躍するための実践的な技能の習得
	-	森林林業の次代のリーダーとなるための専門知識及び技術の習得
	-	多自然地域の振興や課題解決に貢献するための幅広い知識及び技術の習得
評価方法	出席（日報含む）60%、発表30%、研修先評価10%	

授業計画	テーマ	講義内容
1	インターンシップ	注意事項の説明
2～5	インターンシップ（第1回）	インターンシップ第1回目（3日間）
6～9	インターンシップ（第1回）	インターンシップ第1回目（3日間）
10～13	インターンシップ（第1回）	インターンシップ第1回目（3日間）
14～17	インターンシップ（第2回）	インターンシップ第2回目（3日間）
18～21	インターンシップ（第2回）	インターンシップ第2回目（3日間）
22～25	インターンシップ（第2回）	インターンシップ第2回目（3日間）
26～27	結果とりまとめ	報告書の作成と発表準備
28～29	結果とりまとめ	報告書の作成と発表準備
30	発表練習	報告書の作成と発表準備
31	結果とりまとめ	報告書の作成と発表準備
32	発表準備	報告書の作成と発表準備
33	発表準備	報告書の作成と発表準備
34	発表会	成果発表
35	発表会	成果発表

テキスト	
参考書	
関連する資格	
備考	